

第3学年 国語科学習指導案

日時 平成20年10月16日(木) 5校時
児童 男子9名 女子8名 計17名
指導者 芳賀 裕子

1 単元名 大事なことをたしかめよう

2 教材名 「すがたをかえる大豆」
「食べ物はかせになろう/本で調べる」(光村図書 3年下)

3 単元について

(1) 児童について

児童はこれまでに、3年上「ありの行列」、「おもしろいもの、見つけた」の学習をしてきた。「ありの行列」では、仮説一検証型の論説的文章を段落や中心文、キーワードに気をつけて読み取り、ありの行列ができるわけを絵本に表す学習をした。また、「おもしろいもの、見つけた」では、知らせたいことを事柄ごとに整理し、段落に分けて書く学習をした。これらの学習を通して、教材文に立ち返って文章を読もうとしたり、段落に気をつけて書いたりすることが少しずつできるようになってきた。また日常的には関心をもった昆虫や植物などについて、その種類や育て方など図鑑や本で調べながら読んでいこうとする姿も見られるようになってきている。

NRTテストの結果をみると、読むことの「順序を考えながらだいたいを読むこと」は全国比をやや上回っており、「内容を考えながら音読すること」は大きく上回った。言語事項の「主語・述語を正しくおさえる」ことに課題があり、読み取りにおいても意識して指導にあたりたい。

また、本校の国語科アンケート結果によると、「国語の勉強が好きですか」の問いにとっても好きが7人、まあまあ好きが4人に対し、あまり好きでないと答えた児童が6人いた。理由は、「文章があまり好きでなく読むのが苦手」「いっぱい漢字が出てくる」などである。読みに対する抵抗感を減らし、主体的に楽しく活動できるような工夫が必要である。

(2) 教材について

小学校学習指導要領における中学年「C読むこと」の領域の目標は、「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読むことができるようにするとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる」である。

本単元「大事なことをたしかめよう」は、中心となる語や文、段落相互の関係に注意して読むことと、本での調べ方を知り、身近な食べ物について調べ、分かりやすくまとめて友達と交流することをねらいとしている。

「すがたをかえる大豆」は、身近な食べ物の一つである大豆とその加工食品について書かれている。すがたを変えて食されていることに意外性をもって読み、さらに他の食品への関心をもたせることのできる教材である。また、本教材は解説型の説明文であり、すべて「くふう」というキーワードで例示がなされている。文章構成の仕方や情報を集める観点を学ぶことができ、自分が説明文を書くためのよいモデルとなる。

「食べ物はかせになろう」は、自分の調べたい食べ物について調べ、文章にまとめて友達同士読み合う教材である。調べたいことを決める、調べる、整理する、文章に書く、本にまとめるという構成になっている。調べる際の図書資料の探し方や目次・索引の使い方、情報のまとめ方を学びながら調べる内容になっている。

(3) 指導にあたって

単元を通して育てたい読みの力は二つある。一つ目は構成や書き方の工夫に目を向けながら説明文を読むことである。内容の正確な理解にとどまらず、筆者を意識しながら自分の考えや疑問をもって読み進めることができるようにさせていきたい。二つ目は、調べたいことに合った図書資料を選び、情報を集めることのできる読みの力である。

また本単元における読みの目的を『すがたをかえる食べ物事典を作ろう』とする。単元の指導過程においては、文章を書くために読むという目的意識をもち続けることができるように、単元構成を工夫した。

一次のつかむ段階では、食べ物博士になろうと呼びかけ、そのための条件を提示しながら意欲付けを図りたい。条件は①大豆博士になる、②調べ方がわかる、③文章にまとめるの3つとする。

二次の確かめる段階では、教材を読む学習と自分の調べる食材について情報を集める学習の二つを行う。初めに「すがたをかえる大豆」を叙述に沿って読みながら、食材への関心をもたせる。次に自分の調べる食材を決めて調べ、情報を集める。そして再び教材にもどり、筆者がどのようなつながりで例示したのかさらに深く読み取らせる。構成の仕方にも気付かせ書く活動に生かすことができるようにさせたい。

三次の広げる段階では、二次で読んだ「すがたをかえる大豆」の書き方の工夫を生かし、集めた情報をもとに説明文を書く。そして友達同士読み合っよさを評価し合う。

単元の目的は、書くために読むことであるので、「食べ物はかせになろう」の組み立てメモを「すがたをかえる大豆」でも使用し文章を読み取りながら完成させていく。

4 単元の目標及び評価規準

(1) 単元の目標

- ◎ 身近な食べ物についての秘密を、関心をもって読んだり書いたりしている。
(国語への関心・意欲・態度)
- 段落相互の関係を考えながら、文章の内容を的確に理解することができる。(読むこと・イ)
- ◎内容を大きくまとめたり、必要なところは細かい点に注意したりしながら読むことができる。
(読むこと・オ)
- ◎調べて書く必要のある事柄を収集したり、選択したりすることができる。(書くこと・イ)
- 書こうとするものの中心を明確にしなが、段落と段落の続き方に注意して書くことができる。
(書くこと・エ)
- 文章全体における段落の役割を理解することができる。(言オ(イ))
- 表現したり理解したりするために必要な語句を、辞書を利用して調べることができる。(言エ(イ))

(2) 評価規準

関心・意欲・態度	読むこと	書くこと	言語についての知識・理解・技能
食べ物について書かれた読み物や図鑑などを興味をもって読もうとしている。 伝えたいことが明確になるように、段落相互の関係に注意して書こうとしている。	中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考え、大豆を食べる工夫を正しく読み取っている。(イオ)	身近な食べ物について、情報を収集したり取捨選択したりしながら、段落に分けて文章にまとめている。(イエ)	文章全体における段落の役割を理解することができる。(言オ(イ)) 必要な語句を辞書を利用して調べることができる。(言エ(イ))

5 指導と評価の計画(指導時数19時間)

段階	時間	おもな学習活動	評価規準 (おおむね満足できる状況)
一次 つかむ	2	1 全文を読み、学習のめあてをもつ。 (1)・「すがたをかえる大豆」を読み、初発の感想を書く。 ・「食べ物はかせになろう」を読み、「すがたをかえる食べ物事典をつくろう」という単元のめあてをもつ。 (2)・「すがたをかえる大豆」を読み、紹介されている食品を確かめる。 ・3つの大きなまとまりをつかむ。 ・学習計画を立てる。 ・新出漢字・語句の確認をする。	関 興味をもって教材文を読み、初発の感想を書き、学習のめあてをもとうとしている。[発言・ノート] 関 大きなまとまりをとらえて読み、学習計画を立てようとしている。 [発言・ノート]
二次	12	2 「すがたをかえる大豆」を読み、大豆を使った食品についての文章を組み立てメモにまとめる。 (1) 段落①②を読み、提示されている話題をつかむ。	読 筆者の提示した話題を読み取っている。 [発言・ワークシート] 読 大豆をおいしく食べる工夫やそうしてできる食品について読み取っている。 [発言・ワークシート]

た し か め る		(2) 段落③④⑤⑥⑦を読み、おいしく食べる工夫と食品名を整理する。 (3) 大豆に手をくわえるときの言葉について意味を調べ、内容を組み立てメモに整理する。 (4) ・段落⑧⑨を読み、結論をまとめる。 ・文章の書き方の工夫について自分の考えを書く。	言 表現や理解をするために必要な語句を辞書を利用して調べている。[ノート] 言 文章全体における段落の役割を理解している。[発言・ワークシート] 読 結論を段落相互の関係を考えながら読み取っている。[発言・ワークシート]
		3 調べたい食材を決め、情報を集める。 (1) ・「食べ物はかせになろう」を読み、学習の見通しをもつ。 ・調べる食材を決める。 (2) 本での調べ方を知る。 (3) まとめ方を知る。 (4) 調べる食材について、知りたいことや疑問を明らかにする。 (5・6) ・図書資料をさがす。 ・調べて大事なことを選び、情報カードに書く。	関 調べる方法について理解しようとし、自分の調べたい食材について、関心をもち読もうとしている。 [発言・ワークシート] 書 図書資料の調べ方、情報カードへのまとめ方を理解している。 [観察・ワークシート] 書 内容に沿って情報を探し、大事なことを短く情報カードに書いている。 [観察・情報カード]
	本 時	4 再度「すがたをかえる大豆」を読み、筆者の書き方の工夫や構成の仕方を学ぶ。 (1) 「中」の部分は、何を規準にした順に並べてあるかを読み取る。 (2) ・文章全体における「初め」と「終わり」の役割を知る。 ・「ありの行列」と文章構造を比べ、仮説検証型と解説型の違いを明らかにする。	読 筆者の書き方の工夫を読み取っている。 [発言・ワークシート] 読 文章構造の違いを読み取っている。 [発言・ワークシート]
三次 ひろ め る	5	5 調べた情報をもとに、構成を工夫して文章を書き、「すがたをかえる食べ物事典」を作る。 (1) 情報カードを整理して、組み立てメモにまとめる。 (2) 段落に気をつけて下書きをする。 (3) 文章を推敲する。 (4) 清書する。 (5) 読み合っ、感想を交流する。	書 情報カードをもとに組み立てメモに情報を整理し、構成を考えて文章に書いている。 [組み立てメモ・作文]

6 本時の指導

(1) 本時の目標

【読むこと】事例の食品の提示の順序について、どのようなつながりで書いたか読み取り、自分の考えを書くことができる。

(2) 授業仮説

○仮説1 『音読や書く活動を通して語句や表現に着目した指導をする。』に関わって

自分だったらどう並べるか考えを書かせることを通して、事例の順序にこめられた筆者の意図を確かに読み取ることができるであろう。

(3) 展開

段階	学習内容とおもな活動	・ 教師の支援 仮説に関わる主な支援 評 評価
つかむ 10分	<p>1 学習のめあてを確認し、前時までの学習を想起する。</p> <p>2 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>しょうかいされた食品は、どのようなじゅんばんでならべられているか、ひみつを見つけよう</p> </div> <p>3 段落③④⑤⑥を音読する。</p>	<p>・ 情報カードを提示し、文章を組み立てる学習に入ることを確認する。</p> <p>・ 写真を並べかえ、説明の順序に着目させる。</p> <p>・ 読みの手がかりを確認する。 食品の写真 大豆に手を加えるときの言葉 大豆のすがた キーワード</p> <p>・ 中心がよく分かるように音読させる。 評 説明の順番に着目して、課題をとらえたか。 (発言・観察)</p>
たし かめ る 30分	<p>4 どのような順番にしたのか、自分の考えを書く。</p> <p>5 各自の考えをもとに、筆者の意図について話し合う。 (1) 全員の考えを聞き合う。 (2) 話し合う。 (3) どのような順番で述べられているかまとめる。 ・ 大豆のすがたが見えるものから見えないものへ順番に並べている ・ 読む人に分かりやすい順番に並べている ・ 大豆だと気づかれているものから順番に並べている</p> <p>6 筆者の書き方の工夫について、自分の考えも書く。</p>	<p>・ 段落ごとの読み取りでまとめた組み立てメモも手がかりにさせる。 評</p> <div style="border: 2px dashed black; padding: 10px; margin: 5px 0;"> <p>〈おおむね満足できる状況B〉 順序を意味づける根拠となる語句や表現を探して、自分の考えを書くことができる。 ○Cの子への支援 段落③の1文目に着目させ、「そのままの形」が初めにきていることに気づかせる。 (ワークシート)</p> </div> <p>・ 段落①の「すがたをかえていることが多いので気づかれていないのです。」にふれ、順序にこめられた筆者の意図に気づかせる。</p> <p>・ この順番で書くと分かりやすいか評価し、自分の紹介する食品をどのような順番で並べるか考えを書かせる。</p> <p>仮説1にかかわる主な支援</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>読み取った順番の他にも、並べ方の工夫があることに気づかせ、例を示して考えさせる。</p> </div> <p>評 分かりやすいか評価し、自分ならどう工夫するか書けたか。 (ワークシート)</p>
まとめ 5分	<p>7 本時の学習のまとめをする。 ・ 自分の読み方や友達のがんばりを振り返り、発表し合う。</p> <p>8 次時の予告をきく。</p>	<p>・ 「ありの行列」と文章の組み立て方の違いを読み取ることを知らせる。</p>

かだい

しょうかいされた食品は、どのようなじゅんばんでならべられているか、ひみつを見つけよう

写真

③
いり豆
に豆

見える

○読み手に
分かりやすい
ものから

わざ

大豆のすがた

キーワード
いちばん分かりやすいのは、
その形のまま

④

きなこ

☆こな

⑤

とうふ

☆しる

⑥

なっとう
みそ
しょうゆ

見えない

ちがう食品

自分の考え

・分かりやすさ ◎ ○ △
・私だったら、・・・じゅんばんで書いてみたいです。

第三学年 教材分析表

単元名 大事なことをたしかめよう
 教材名 すがたをかえる大豆

まとめと感想		事例説明					問題提起		構成	
筆者の感想	多くの食べ方が考えられたわけ	取り入れる時期や育て方の工夫	小さな生物の力をかりて、違う食品にする工夫	栄養だけを取り出して違う食品にする工夫	粉にひいて食べる工夫	その形のままいたり、にたりする工夫	大豆とは何か	ほとんど毎日、食べている大豆	小見出し	
⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	段落	
大豆のよさに気づき、食事に取り入れた昔の人々の知恵におどろかさされる。	大豆は味も良くたくさん栄養を含んでいるから。またやせた土地に強く育てやすいので多くの地域で植えられたため。	やわらかいうちに取入れられてゆでると枝豆、日光に当てずに水だけをやつて育てるともやしができる。	ナットウキンの力で納豆が、コウジカビの力でみそ・しょうゆができる。	水を吸い込んだ大豆をすりつぶし、中身を絞って出して固めるととうふができる。	大豆を粉にひくと、きなこになる。	大豆をその形のままいたり、にたりすると、いり豆・煮豆になる。	大豆は、ダイズという植物のたね。 かたい大豆は、そのままでは食べにくく消化もよくないので、手を加えておいしく食べる工夫をしている。	ほとんど毎日食べられている大豆であるが、姿を変えているので気づかない。	要点	
(大豆のよ いとこ ろに 気づき、)	このように	これらのほかに	さらに	また	次に	(いちばん わかりやす いのは、)	(大豆は、)	(わたした ちの毎日の 食事には、)	言語事項 (文頭) 接続語	
	「それは、くからです。」 「そのうえ、くためでもあります。」	「くふうした食べ方もあります。」	「くふうもありません。」	「くふうもありません。」	「くふうがあります。」	「くするくふうです。」	「そのため、くしています。」	「それは、大豆です。」 「くのです。」	表現の工夫 問いかけ 「なんだか分かりますか。」 答え	
ちえ		ダイズ ゆでる	むす にてつぶす ちがう食品	すりつぶす 熱する しぼりだす ちがう食品 しる	こな こなにひく	いる に る わ か り や す い そ の 形 の ま ま	ダイズ 手をくわえて	食品 (技)	着目させたい 語句 (技)	
								すがた 大豆 工夫	全体の キーワ ード	